2013年(平成25年)4月23日(22日発行) 日刊 ゲンダイ

おしえて! ドクター Doctor Vol.10

腰痛、膝・股関節痛、肩こりの本当の原因は仙腸関節の異常だった!?

厚生労働省の調査によれば、腰痛患者は全国で推定2800万人もいるという。4人に1人が腰痛で苦しんでいるにもかかわらず、その85%以上は、原因を特定できないのが現状だ。手術をしたのにまだ痛い、整形外科や鍼灸、整体に通っても改善しない、あるいは手術をしようか迷っている人はどうすればいいのだろうか。「ヘルニアや狭窄、関節の変形など、画像検査で確認できる異常が痛みやシビレの原因だと言い切れないのは今や常識です。実は腰に限らず股関節、膝の痛み、肩こりなどの8~9割は、骨盤にある仙腸関節の動きの異常や炎症(これを仙腸関節の機能障害という)が原因です。機能障害は、MRIやレントゲンなどの静止画の検査ではとらえられないため、一般的な整形外科では原因が特定できないのです」とは、東邦大学医学部の客員講師でもある望クリニックの住田憲足院長。

住田憲足院長

手術と言われた痛みが良くなることも

なぜ仙腸関節に機能障害が生じると、腰痛だけでなく、遠く離れた股関節や膝、肩、手など全身どこにでも様々な症状が起こるのか。

「仙腸関節に機能障害が起こると、背骨や手足に至るさまざまな部位に筋肉の異常な緊張が起こります。この緊張を痛みやシビレ、コリ等の症状として感じます。そのためどこがつらくても根本原因は仙腸関節にあることが多いのです」

住田院長によると、仙腸関節の動きは1~3°とごくわずかなため機能障害を起こしやすいのだそう。

「仙腸関節の機能障害が腰痛をはじめとした整形外科の痛みやシビレの多くの原因だと断言する理由は、私がこれまで、初診の数だけで3万例以上も治療してきた患者さんの8割近くがAKA-博田法で仙腸関節を治療するとつらい症状から解放されているからです」

AKA-博田法とは関節の動きを良くするために開発された運動療法の一つ。極めて微細な感覚が必要な治療法のため、熟練したごく一部の医師にしか出来ない治療法である。ちなみに、千葉県流山市の「のぎみ整形外科・内科クリニック」でも熟練の医師が運動療法の治療技術の一つとしてAKA-博田法を行っている。

手術が必要と言われた方がAKA-博田法で良くなることが多々あるとのこと。なかなか治らない足腰の痛みやシビレ、肩こり、股関節・膝の痛み等で困っている方は注射や手術をする前にAKA-博田法を受診するとよいだろう。

【望クリニック】東京都豊島区雑司が谷2-4-1(☎03・3988・7889)
http://www.nozomi-clinic.com/